

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・商店街内にあるスーパーの動向が気になるが、郊外店舗のシネコンの影響も一段落し、今まで底をはっていた景気に、徐々に明るい兆しもみえている。
		百貨店（営業担当）	・前年前月及び本年春期から比べるとやや商品全体の動きを感じる。商品群により好不調が見られるが、中元・夏商戦も前年並みを確保した。高額商品に動きが見られる。
		百貨店（売場担当）	・クールビズに続きウォームビズが発表され、消費者の購買意欲を刺激するよう、衣料メーカーが新商品の投入に意欲的になっている。
		衣料品専門店（経営者）	・客単価は低下しているが、来客数は増加しており、微増ではあるが3ヶ月連続で既存店売上が、前年よりも増加している。この傾向が持続すれば2～3か月先も期待が持てる。
		観光型旅館（経営者）	・愛知万博で、人が中部地区に集中したため、特に四国は入込が悪かったが万博が終わった後は回復する。
		ゴルフ場（従業員）	・2～3か月後は、時期的にもシーズンであり、週末の予約も大分入ってきている。平日に関しては、今のところ判断できないが、状況的には良くなる。
		設計事務所（所長）	・郊外型の商業施設に出店の動きがある。
	変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	・時期的に毎年売上の低い時期のため、あまり売上は期待できない。消費者も、かなりお金の使い方を考えながら使っており、あまり衝動買いがないため、売上の増加は期待できない。
		百貨店（総務担当）	・一部の高額商品が売れ出すなど明るい兆しはあるが、夏物バーゲン商戦をとってみても、客の慎重な購買行動は変わっておらず、急速に個人消費は回復しない。
		百貨店（営業担当）	・8月後半の個人消費の若干の冷え込みが気になるが、半年ぐらい前から景気は徐々に回復基調にあると判断しており、今のまま回復基調で変わらない状況が続く。
		スーパー（店長）	・周りの店の競争も激しく、なかなか今以上には売れなくなる。それより、夏の気温が昨年より低く、夏物があまり売れなかったため、今後の展開に期待が持てない。
		スーパー（財務担当）	・お盆期間の売上は、昨年を若干上回ったが、お盆前後の売上の数字が悪い。6月より続いている水不足が消費マインドに影響している。早期の水不足の解消が待たれる。
		スーパー（統括担当）	・スーパーでの来客数が、前年比90%ぐらいで推移している。非常に悪い状況で、これ以上悪くなることはない。
		家電量販店（営業担当）	・例年に比べて思うほど伸びなかった冷蔵庫、洗濯機などの商品が、全体の売上に影響している。客の反応も少し低く、大きな動きにはならない。
		乗用車販売店（従業員）	・秋の新型車による販売量増加に期待するが、客は、選挙の影響でどちらが勝っても新車を買うのを少し控える。全体の景気が上向くのを待っているのがうかがえる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車が発売予定であるが、多チャンネルでの併売であり、厳しい状況は変わらない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・ビールが主力商品であるが、今年の初めから少し値上がりをしており、値上げをしていないスーパーの動向も影響し、かなり景気が落ち込んでいる。
		旅行代理店（従業員）	・旅行需要は戻ってきている。秋から年末への旅行が期待でき、大きな落ち込みはない。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	・土地の値下がりや、買い需要の低迷は、まだまだ続いており、しばらく景気は良くならない。
やや悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・選挙の結果次第にもよるが、明るい材料が見当たらない。	
	都市型ホテル（経営者）	・今度の選挙が大いに影響する。選挙で景気がどうなるか分からないが、先行きの予約状況を見ると、やや悪くなっている。	
	タクシー運転手	・8月はお盆、帰省、よさこい祭り等で人の動きがあった。これから2～3か月先は、出費を抑える時期のため、全体的にこれからは悪くなる。	
	観光名所（職員）	・施設の新たな工事を予定しており、今よりも入場者数が減少する。	
	設計事務所（職員）	・競争相手との受注競争が一段と厳しくなり、仕事量の減少と低額受注による利益率の低下が懸念される。	

	悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・都会ではいろいろな面で景気が回復傾向にあるようだが、地方ではその実感が全くない。
企業動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（総務担当）	・建築関係の引き合いが回復してきており、受注残高も前年同期並みに確保できる。
		通信業（営業担当）	・株価の上昇、個人投資家の復活で、季節商品を中心とした個人消費が今後も伸びると言う声を聞くことが会話の中で多くなった。
		不動産業（経営者）	・ここ最近、市内中心部の高額物件の動きが活発になっている。また、同業者の話聞いても、非常に忙しくなっている。不動産の売買状況がかなり活況に向かいつつある。
	広告代理店（経営者）	・年末、年度末にかけての商材については、引き合いも多くなっており、受注が増加する。	
変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・大型クレーンの稼働率は相変わらず好調である。引き合いも活発で、総需要は7ヶ月連続で前年越えとなっている。しばらくは、この状況が続く。	
	輸送業（役員）	・荷主の景気は業種によりばらつきがあり、小売業関係は上昇気配であるが、メーカー、特に石油製品メーカーはナフサの値上がりによるコストの上昇を料金に転嫁できず苦勞しており、平均するとあまり変わらない状況である。	
	金融業（融資担当）	・主要産業である建設業、また小売業ともふるわず、明るい兆しが見えない。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・当月の受注をみるかぎり、依然として鉄鋼、発電所関係の構内業者の動きが堅調である。中間決算から年末に向け、若干の期待ができる。	
	広告代理店（経営者）	・得意先の売上状況は底打ち感があるが、一部の遊戯関係の得意先を除き、広告予算増加の見込みは厳しい状況である。	
	公認会計士	・いろいろな業種の経営者と話す機会があるが、年内に景気が良くなると答える社長は1人もいない。都会では景気が良いようであるが、まだまだ松山では景気が良くないというのが統一した意見である。現状では松山においては、景気が将来上向くとは考えられない。	
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・グローバル競争の激化に伴い、販売価格の下落、それによる企業収益が低下している。	
	輸送業（支店長）	・更に原油の高騰が続くなか、いまだに価格転嫁ができず、全体的に荷動きが停滞し同業他社との競争により一部受注単価下落の話もあり、受け入れざるを得ない案件がある。	
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・年末、年度末に向けては新卒を中心とした採用PR事業は順調に増加する。特に今年度、企業は採用数を増やすが質重視の厳選採用のため、重複内定が多くなり、優秀な学生の採用は難しい環境になっている。PRのための投資は例年以上に必要となる。
		職業安定所（職員）	・採用を手控えていた事業所から求人がでてきたり、予定より多く採用するようになってきた。
		職業安定所（職員）	・今月も求人数の増加の傾向があり、労働市場の動きが感じられる。
		民間職業紹介機関（所長）	・求人企業が若干増えており、今後、企業の採用活動、特に中途採用が増える。
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求職者数は、前年同月比で4か月ぶりに減少に転じた。在職者、パート求職者が増えているものの、離職者、無業者が減少したため減少した。また、月間有効求職者数も前年同月比で3か月ぶりに減少した。
		学校〔大学〕（就職担当）	・企業の採用動向が、様々な業種の間人等を各方面から募っていることが感じられ、新卒者への期待が小さい。
やや悪くなる	-	-	
悪くなる	-	-	